白木の祭壇を用いない盆飾り（毎年の盆飾り）

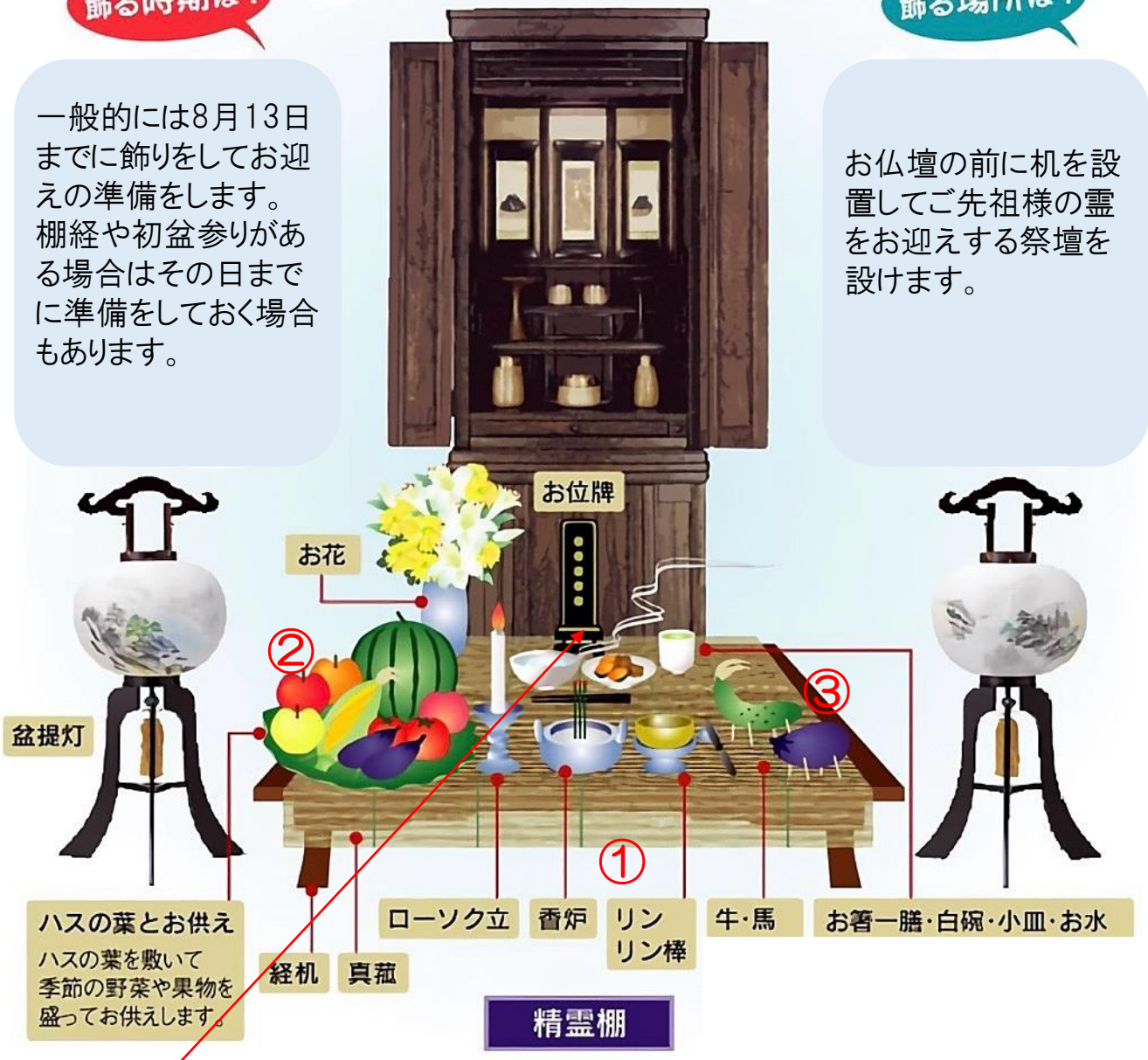
熊木仏壇 甲賀水口店掲載

飾る時期は？

一般的には8月13日までに飾りをしてお迎えの準備をします。棚経や初盆参りがある場合はその日までに準備をしておく場合もあります。

飾る場所は？

お仏壇の前に机を設置してご先祖様の霊をお迎えする祭壇を設けます。



④

【初盆提灯】初盆のみ

【盆提灯】毎年用

【仏膳セット】

【盆ゴザ・真菰】

【精霊馬キャンドル】

【ハスの葉・造花】

【お供え物机】

【8月13日～15日（16日）　ご先祖様をお迎えする準備について】

①お仏壇の前に、 経机や木製棚などを置き、その上に真菰（ゴザ）を敷いて、「精霊棚」 をつくります。精霊棚に、お位牌、 ローソク立、香炉、リンを置き、お花、季節の野菜や果物、お水､煮物やソウメンなどの精進料理、故人の生前好物などをお供えします。精霊棚の両脇には、絵柄の入った盆提灯（行灯）を飾ります。

②季節の野菜や果物をハスの葉の上に盛ってお供えします。お盆特有のお供えとして、ハスの葉の上に洗米などを盛り、ほおずきなどを添えてお供えすることもあります。

③キュウリとナスに、箸（麻がら）で4本足を付け、故人の霊やご先祖様が乗る 「馬（キュウリ)と牛(ナス)」に見立てたものをお飾りします。迎えるときは 「足の速い馬で少しでも早く家に来てもらうように」、 送るときは「名残惜しいので足の遅い牛でゆっくり帰ってもらうように」という意味が込められています。

④故人の霊が帰ってくるお盆なので、迷わぬように軒先や仏間に盆用の提灯を吊します。初盆は「初盆提灯」ですが、翌年のお盆からは毎年使える「盆提灯」を用意してご先祖様をお迎えします。